

セイワ コンプレッサーガソリンライト

エスコン Mシリーズ





型 式 SC-22M-7/50Hz SC-22M-7/60Hz
 SC-22M-10/50Hz SC-22M-10/60Hz

取扱説明書

ご使用前にこの「取扱説明書」をよく読み正しく
お使いください。誤った取扱いは機械の故障や大変
な事故につながります。
機械を操作する前にいつでも見られるように大切に
保管してください。

この度は、SEIWA「エスコンシリーズ」をご選定いただきまして厚くお礼申し上げます。

- 当機のご使用に際しては、この取扱説明書を熟読していただき、安全にご使用ください。
- 品質、性能向上又は安全上、部品の交換を行う事がありますが、その際は本書の内容と一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 不明な点やお気付きの事がございましたら、お買い上げ店、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。
- 文中の記号について

 危険	適切な事前注意をとらないと死亡又は重傷を負う危険性が大きい事を示します。
 警告	適切な事前注意をとらないと死亡又は重傷を負う可能性があることを示します
 注意	適切な事前注意をとらないと傷害又は製品の重大な損傷を招く可能性があることを示します
 留意	製品の使用上の留意点や参考となる事柄を示します。

目 次

1	安全のために	1
2	仕様諸元表	2
3	各部名称・機能	3
4	作業操作手順	4
4-1	準備	4
4-2	モータの始動	5
4-3	停止	6
5	トラブル対策	7

1 安全のために

危険

- モートル、圧縮機周囲は高温になります。熱に弱いものや引火しやすいものは近づけないよう注意して下さい。又、引火性、爆発性ガスのある場所では使用しないで下さい。火災や爆発事故につながります。
- 電源の接続は確実にを行い、感電事故防止のため端子部は絶縁保護をし、アースを施してください料がこぼれたら拭き取ってから始動してください。

警告

- 非清浄空気ですので、吸引目的に直接使用しないでください。呼吸器障害を起こす恐れがあります。
- 運転中、回転部分に手を触れたり物を差し込んだりしないで下さい。誤って触れたりすると、手や服を巻き込まれ大ケガを負うことになります。
- 圧縮されたホースは非常に危険です。損傷したホース、折れ曲がったホース、継手金具の悪いものは、新品と交換してください、ホースの金具類はしっかり取付けてください。
- 移動、点検時はあらかじめドレンバルブや吐出コックを開き、空気タンクの圧力をゼロにしてください。
- ドレン排出中は、ドレン弁の下に手を出さないで下さい。異物が飛び出し、ケガをする恐れがあります。

注意

- 使用後は必ず電源を切り、ドレン排出をおこなってください。
- 長時間使用しない場合は、電源コードを抜いて保管してください。
- 事故の防止や、機械の冷却が十分される為に、使用は建物及びその他の設備から1m以上離してください。
- 関係者以外やお子様は近づけないで下さい。誤った操作やいたずらにより思わぬ事故を招きます。
- 本機は傾けたり、倒したりしないで下さい。焼付の原因になります。
- 夏場直射日光の当たる場所や換気の悪い場所に設置して長時間運転しますと、モーターが止まる場合があります。その場合は風通しの良い日陰に設置してください。
- 使用後ドレン抜きを行ってください。ドレンが溜まったままの状態ですとタンクの腐蝕の原因となります。
- 本機を高所から落とさないで下さい。タイヤの破損、タンクのひび割れの原因となります。

2 仕様諸元表

型 式		SC-22M-7/50Hz	SC-22M-7/60Hz	SC-22M-10/50Hz	SC-22M-10/60Hz
ポ ン プ	方式	レシプロ給油式			
	圧力制御	パイロットアンローダー式			
	出力(PS)	3.0			
	圧力(Mpa)	0.69 (7kgf/cm ²)		0.98 (10kgf/cm ²)	
	吐出空気量 L/min	330		270	
駆 動 源	定格出力(KW)	2.2			
	始動方式	ブレーカースイッチ			
	電源	3相200V			
	駆動伝達	A53R	A52R		A51R
そ の 他	タンク形状	双胴型			
	エアータンク 容量(L)	15			
	空気取出口	75			
	寸 法 L×W×H(mm)	890×413×543			
	乾燥重量 (kg)	75			

3 各部名称・機能

- ①ブレーカースイッチ
モーターの起動・停止をおこないます。また過電流によるモーター焼けを保護します。
- ②圧縮機
圧縮空気を作り出します。
- ③パイロット弁
圧力によりポンプの作動制御をします。
- ④安全弁
圧力の過上昇による事故を防止します。
- ⑤吐出コック
圧縮空気の取り出し口です。接続はG1/4サイズです。
- ⑥ドレンバルブ
空気タンク内に溜まったドレン（水等）を吐出します。
- ⑦モーター
圧縮機をまわす駆動源です。
- ⑧Vベルト
モーターの回転を圧縮機に伝えます。
- ⑨ベルトカバー
回転部分を保護し、事故を防ぎます。
- ⑩空気タンク
圧縮空気を溜めておくタンクです。

留意

圧縮機部分

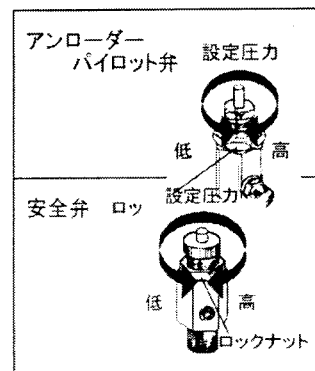
- 運転前に必ずオイル量を確認してください。量が少なくなっていたら追加してください。

アンローダーパイロット弁

- 設定圧力は、規定圧力0.69MPa(10タイプは0.96MPa)以上に上げないで下さい。誤作動の原因になります。工場出荷時は規定圧力に設定してあります。

安全弁

- 設定圧力は、使用最大圧力0.78~0.88MPa(10タイプは1.08~1.15MPa)以上に上げないで下さい。圧縮機故障やホースタンクの破裂の原因になります。工場出荷時、適正な圧力に設定してあります。



4 作業操作手順

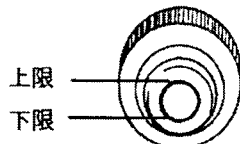
4-1 準備

① オイル点検

圧縮機オイル(毎日点検)

- オイルを点検し、不足していたらセイワエスコンオイルを入れてください。

ポンプオイルゲージ



👉 留意

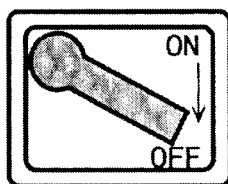
- 圧縮機オイル量が少ない状態で運転しますと、圧縮機焼付の原因となります。一度焼付を起こした圧縮機は使用不能となりますのでこまめにオイルの量をチェックしてください。
- 圧縮機には必ずエスコンオイルをご使用ください。エンジンオイルなどの注入は故障の原因となります。
- オイル点検は必ず水平な場所で行ってください。
- 使用済みのオイルは最寄りのガソリンスタンドにお持ちください。決して川や下水等に排気しないで下さい。

② エアクリーナ点検

エアクリーナに汚れが詰まると空気を吸引できず、正常な吐出量が出せなくなります。エアブロー等で汚れを取り除いてご使用ください。

③ 電源の接続

本体のスイッチがOFF（下側）になっていることを確認し、電源を接続してください。



電源の接続時は、スイッチOFFを確認！

👉 留意

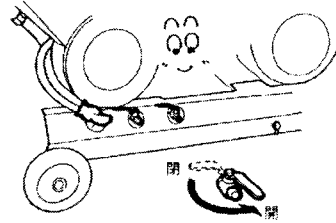
本機の電源ケーブルにはプラグは接続されていません。

必ずお使いになるコンセントの形状に合ったプラグをご用意いただき、しっかりと接続して使用してください。直接接続や絶縁保護のない状態でのご使用は感電事故の原因となりますのでしないでください。また、延長ケーブルは使用せず、プラグを電源コンセントに接続してください。

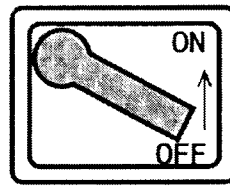
4 作業操作手順

4-2 モータの始動

①吐出コックを開いてください。



②電源接続を確認し、本体のスイッチを入れます。



③モーター始動後、吐出コックを閉じると、設定圧力まで上昇し、無負荷運転になります。

<制御方式について>

本機はパイロット弁式です。作動中はモータは停止しませんが、パイロット弁により規定圧力に達すると無不可運転に切り替わります。無不可運転では騒音、消費電力ともに非常に低くなります。

④再びコックをゆっくり全開し、作業を開始してください。

<圧力調整、流量調整について>

本機は各上限圧力と復帰圧力が固定されており、圧力、流量の調整はできません。ご使用になる機器にあわせた条件設定には、エアレギュレーターやトランスホーマーなどの補器（別売り）をご使用ください。

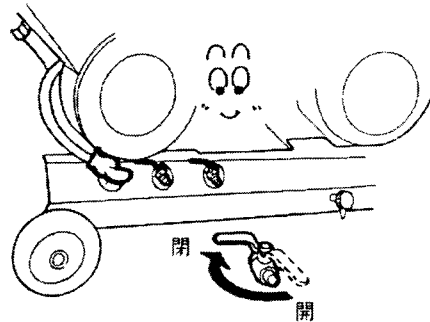
留意

- 圧力は所定の圧力に固定されています。設定圧力規定値以上に上げないで下さい。ポンプ等の損傷、破損、ホース、タンク等の破損の原因となります。
- コックは全開の状態で使用してください。中間位置での使用はコックの寿命を縮めます。

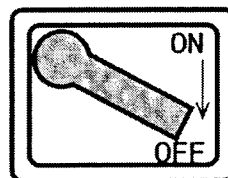
4 作業操作手順

4-3 停止

- ①吐出コックを閉じて下さい。
圧力が規定値まであがると無負荷運転に入ります。



- ②無負荷の状態 で 20~30 秒程度運転した後、本体のスイッチをOFFにしてください。



- ③機器が完全に停止したのを確認したら、エアタンクに付いているドレンバルブを開け、エアタンク内のドレンを抜き圧力を抜いて下さい。

- ④ドレンが抜け、圧力が0になったらコックを開けて作業完了です。

5 トラブル対策

故障はできるだけ早期に発見して適切な対策をとることが大切です。故障の90%はベルトの磨耗、アンローダー調整不良ですが、次の表を参考に処置して下さい。
修理不能な場合は弊社営業所、又はお買い上げ販売店までご連絡ください。エンジンにつきましては別冊「エンジン取扱説明書」をご覧ください。

現 象	原 因	対 策
ポンプを回しても 全くエアが出てこない	<ul style="list-style-type: none"> ●ポンプエアークリーナー吸込み口のつまり ●アンローダー、プランジャー 部品の作動不良 	<ul style="list-style-type: none"> ●洗浄・交換 ●グリースアップ、部品交換
エアが少ない 規定の圧力が出ない 少ない	<ul style="list-style-type: none"> ●吸入弁の破損 ●アンローダーパイロット弁の 調整不良ゴミのつまり ●吸込弁の破損 ●ガスケット部よりの漏れ 	<ul style="list-style-type: none"> ●交換 ●圧力調整、分解・洗浄 ●交換 ●交換
吐出量が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ●ポンプエアークリーナー、 吸込弁のつまり ●吸込弁、吐出弁の破損又は変形 ●アンローダー、プランジャー部分の 作動不良 ●Vベルトの磨耗 ●エンジンの回転が低い 	<ul style="list-style-type: none"> ●洗浄・交換 ●洗浄・交換 ●グリースアップ、部品交換 ●交換 ●調整
モーターがまわらない	<ul style="list-style-type: none"> ●配線接続不良 ●電源が接続されていない ●ブレーカースイッチ故障 	<ul style="list-style-type: none"> ●配線修正 ●接続する ●交換
モーターが 20~30分で ストップする	<ul style="list-style-type: none"> ●電圧低下 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源改善

コンプレッサの使用開始前に必ず下記空欄に必要な事柄を記入してください。
点検の時に大変役に立ちます。

項目	ご記入欄		
型式	SC-22M-7/SC-22M-10	ご使用開始 年 月 日	
製造番号		ご購入先	TEL ()
ご購入 年月日			

アフターサービスについて

保証規定

1.保証内容

お買い上げの日から1年の間に正常な使用状態にも関わらず弊社の責任に基づき故障が発生した場合は無償修理させていただきます。

2.適用除外 ●保障期間中でも下記の場合には適用いたしません

- (1) 不当な修理や改善による故障、損傷。
- (2) お買い上げ後の落下などによる故障、損傷。
- (3) 火災、塩害、ガス外、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障、損傷。
- (4) 使用・取扱い上の酷使、過失、手入れ不十分および外的損傷による故障、損傷。
- (5) ノズル、摺動部の磨耗およびパッキン等の消耗部品。
- (6) 注意事項および取扱説明書に記載した内容の範囲外の条件で使用した故障および損傷。
- (7) 書類に不当な字句訂正などがあった場合。

3.本書はお買い上げの納品書(納入口が記載されていることを確認)とともに大切に保管してください

ユーザー登録について

～保証対象の確認および、速やかな保証対応のために、機械購入時にユーザー登録をお願いしています～
同封の保証書に必要事項をご記入いただきFAXいただくか、弊社ホームページ経由でも受付をしています。
ホームページ経由でご登録いただきますと、ご購入いただいた商品のメンテナンス情報、関連する付属品、
便利なオプション品情報、新商品情報など、定期的に情報配信をさせていただきます。

是非、この機会にご利用くださいますようお願いいたします。

- ・登録場所/精和産業トップページ右側中段「機械ご購入者様用・保証書ユーザー登録」

<https://www.seiwa.com>

ここからも登録できます→



修理サービス

修理はお買い上げの販売店又は、弊社最寄りの営業所にご連絡ください。

SEIWA 精和産業株式会社

浜松配送センター

〒432-8006 静岡県浜松市中央区大久保町1348
TEL 053(485)6181 FAX 053(485)6180

仙 台	981-1105	仙台市太白区西中田6-15-13	携 帯	090-3212-9902
群 馬	371-0854	群馬県前橋市大渡町1-8-6	携 帯	080-1838-8248
東 京	136-0072	江東区大島5-12-7	TEL	03-3638-6911
神 奈 川	242-0029	大和市上草柳8-28-18	携 帯	090-7404-1915
名 古 屋	453-0839	名古屋市中村区長筈町4-15	携 帯	080-1838-8248
大 阪	547-0001	大阪市平野区加美北8-1-18	携 帯	080-1838-8248
岡 山	710-0841	倉敷市城南606-1	携 帯	090-8855-1690
福 岡	816-0912	大野城市御笠川1-8-7	携 帯	090-8855-1690
エス・ディー ツール	891-0175	鹿児島市桜ヶ丘2-22-10	携 帯	090-2515-0068
塗機商事	903-0124	中頭郡西原町呉屋108-6	携 帯	080-1794-4141